

第1章 成田市水道事業ビジョンの骨子

1.1 成田市水道事業ビジョン策定の背景

人口減少社会の到来に伴う水需要※動向の減少や、東日本大震災を契機とした水道施設の老朽化対策、耐震化、水質管理の強化、防災・水質事故・危機管理への対応等の重要性の高まりなど、水道を取り巻く環境は大きく変化してきています。

事業の中心が普及促進や施設の拡充を目的とする建設事業から、サービス向上や経営基盤の強化を目的とする運営管理に移行してきており、これまでの拡張・増量を目的とした事業計画からの転換期を迎えた中で、厚生労働省や総務省は、各種通知等により、的確な「計画」の必要性和「経営」の観点の重要性とともに、中長期的な計画の策定を要請しています。

厚生労働省においては、水道を取り巻く状況の大きな変化を踏まえ、平成25年3月に「新水道ビジョン」を公表しました。また、「水道事業ビジョンの作成について」（平成26年3月19日）の通知の中で、「新水道ビジョンでは、水道事業者等が自らの水道事業ビジョンを作成し、その内容の実現に向けた取り組みを積極的に推進することが必要である」としています。

また、総務省においては「「経営戦略」の策定推進について」（平成28年1月26日）の中で、「経営戦略の策定に適切に取り組み、計画的かつ合理的な経営を行うことにより収支の改善等を通じた経営基盤の強化等に努められる」ことを要請しています。（その後、「経営戦略策定ガイドライン改訂版について」（平成29年3月31日）が通知されています。）

本市においても、市営水道が直面する課題や社会の変化に対応するために、「新水道ビジョン」が掲げる水道の理想像である「持続」、「安全」、「強靱」という3つの観点に立脚した「成田市水道事業ビジョン」を新たに作成し、現状と将来の見通しから浮かび上がる課題を整理するとともに、本市の市営水道の進むべき中長期的な方向性を示すこととしました。

なお、水道事業の経営戦略は未策定であることから、成田市水道事業ビジョンと併せて策定します。

1.2 成田市水道事業ビジョンの位置付け

本市は、市の最上位計画として「成田市総合計画『NARITA みらいプラン』」（2016～2027年）を策定し、将来都市像「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まち なりた」の実現に向けて行うべき政策及び施策を体系化しています。

その基本計画の中の上水道施策において「水の安定供給と汚水処理の適正化を図る」を掲げています。

成田市水道事業ビジョンは、厚生労働省の「新水道ビジョン」及び、「成田市総合計画『NARITA みらいプラン』」を上位計画として、市営水道の中長期計画に位置付けられるものです。

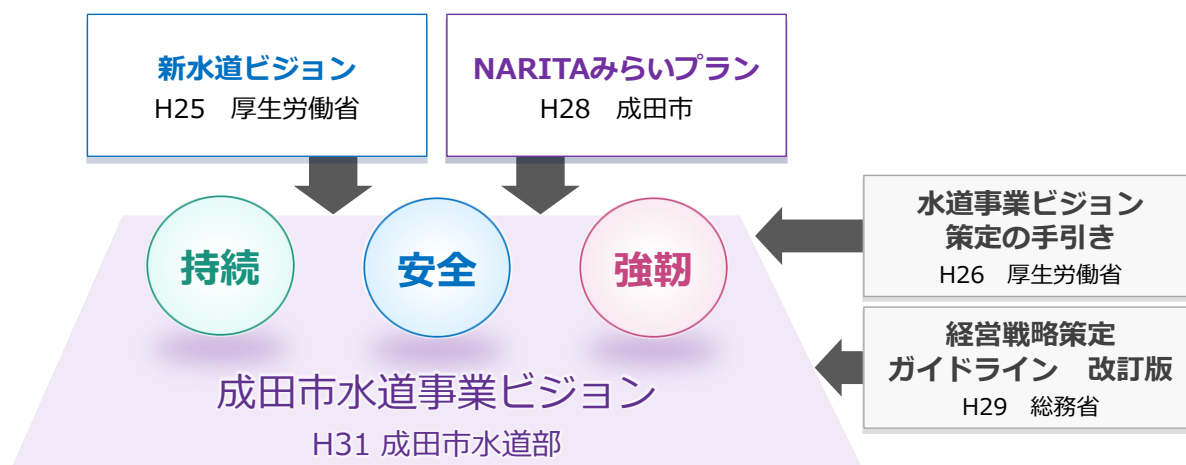


図 1.2.1 成田市水道事業ビジョンの位置づけ

1.3 計画期間

成田市水道事業ビジョンは、計画期間を 2019（平成 31）年度から 2028（平成 40）年度までの 10 年間とします。

